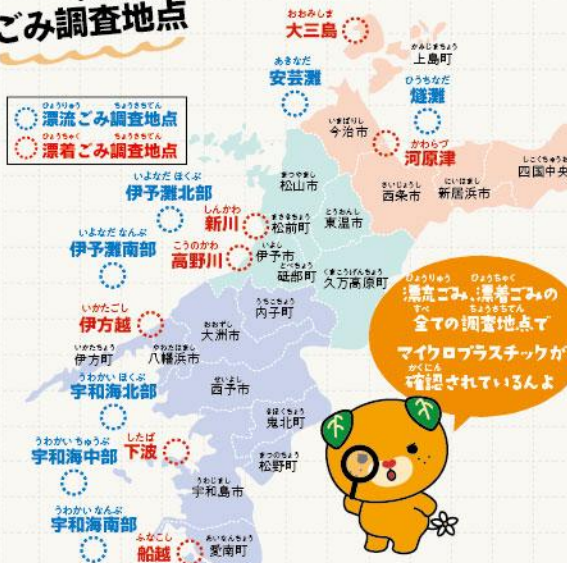


海洋プラスチックごみ総合調査

愛媛県では、海洋プラスチックごみの効果的な削減につなげていくため、県内7地点におけるマイクロプラスチックを含む漂流ごみと漂着ごみの調査や、河川から海域へのプラスチックごみの流出状況等の調査を行いました。

海洋プラスチックごみ実態把握調査!

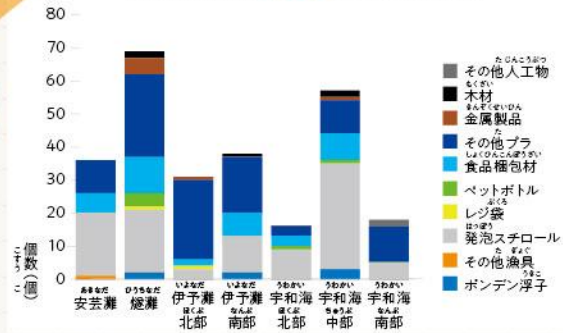
ごみ調査地点



漂流ごみ・漂着ごみの
すべての調査地点で
マイクロプラスチックが
確認されているんですよ

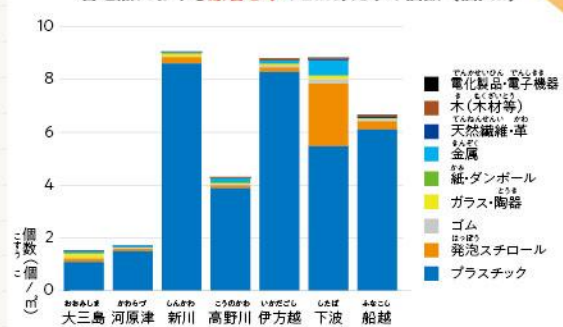


各地点における漂流ごみの種類別発見個数



「その他人工物」はボール、マスク、熱コップなどを分類
「その他プラ」は原形の分からないプラスチックやビニール袋、ペットボトルのキャップなど

各地点における漂着ごみの1mあたりの個数(個/m)



なんと
南予は
東・中予の
約2倍もの
漂着ごみ!!



川を流れるプラスチックごみを調査!

調査方法

肱川上流・中流にそれぞれ設けた放流地点より、小型GPSを搭載した模擬プラスチックごみを、各6台放流。GPSから一定時間ごとに送信される位置情報を基に、模擬プラスチックごみの流下状況を記録。



プラスチック模擬ごみ
河川流下実験中



調査結果

- 模擬プラスチックごみの滞留箇所、レジ袋やペットボトルのごみなどが確認された。
- 滞留したごみはダムや放流や雨による水量の増加などによって再流下する。
- 肱川上流から河口までの流下に要する日数は、**108~212日** かった。

川のごみが
長い時間をかけて
海へ流れ出る
ダーク

